

作成日 2020年7月 2日
改訂日 2025年6月19日

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

[化学品の名称] セメダイン EP-1000ソフト石材用 主剤
[供給者の会社] セメダイン株式会社
住所 茨城県古河市下大野2184
担当部門 品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号 0280-92-4518
FAX番号 0280-92-1947
E-mail emg@cemedine.co.jp
緊急連絡先 0280-92-4518
月曜～金曜 8時30分～16時50分（言語：日本語）
[整理番号] 0612-2
[推奨用途] 接着用途に限る
[使用上の制限] 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性：	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入：ガス)	分類できない
	急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(呼吸器)
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

警告

危険有害性情報：

皮膚及び眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
蒸気を吸入しないこと。
蒸気の吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

注意書き：

安全対策

応急措置	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
保管 廃棄	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること
	気分が悪いときは、医師に連絡すること。
	気分が悪いときは、医師の診察/手当てをうけること。
	特別な処置が必要である(項目4. 応急措置を参照)。
	皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
	眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
保管 廃棄	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
	漏出物を回収すること。
保管 廃棄	施錠して保管すること。
	内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：エポキシ樹脂系接着剤 主剤

危険有害成分

成分名	含有率(%)	CAS No.	官報公示整理番号(化審法・安衛法)
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂	20～30	25068-38-6	7-1283
ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂	0.1～1	9003-36-5	7-1285
ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	1～5.5	40766-31-2	4-38
エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン		35254-73-0	4-1611
1,2-ジメチル-4-(1-フェニルエチル)ベンゼン	0.8～4.4	6196-95-8	4-38
1,3-ジメチル-4-(1-フェニルエチル)ベンゼン	0.8～4.4	6165-52-2	4-38
1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	0.8～4.4	6165-51-1	4-38
酸化チタン(IV)	0.1～1	13463-67-7	1-558
炭酸カルシウム	60～80	471-34-1	1-122

4. 応急措置

吸入した場合	：蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、多量の水でうがいさせ、安静、保温に努め、速やかに専門医の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：直ちに汚染された衣服や靴を脱がす。付着した部分洗い流しながら、水と石鹸で皮膚を洗浄する。痛みや異常が感じられる場合速やかに専門医の手当を受ける。
眼に入った場合	：直ちに清浄な水で5分以上洗眼した後、速やかに専門医の手当を受ける。
飲み込んだ場合	：水でよく口中を洗い、多量の水を与え吐き出させる。速やかに専門医の手当を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：水、噴霧水、粉末、耐アルコール性発泡剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	：データなし
特有の消火方法	：火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤、多量の水を使用して消火する。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	
漏出防止、除外などの作業は、適切な保護具(手袋、保護眼鏡)を着用する。	

環境に対する注意事項

漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合 : ウェス等で拭き取る。

多量の場合 : 飛散したものを掃き集め、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 取扱い中は、飲食禁止、禁煙、ヒューム・ミストを吸込まないようにする。皮膚に触れさせない、眼に入らないようにする。適当な保護手袋、保護眼鏡等を着用する。作業衣は長袖、長ズボンを着用する。換気のよい場所で行い、時には局所排気装置を設置する。

保管 : 容器を完全に密閉して保管し、直射日光を避け、換気の良い屋内で一定の場所を定めて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

許容濃度 : 未設定

管理濃度 : 未設定

設備対策 : 取扱い場所の近くにシャワー、手洗、洗顔、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具 : 簡易マスク(活性炭)
保護眼鏡(側面板付)
保護手袋(耐油性ゴム製、不浸透性)
保護衣(長袖、長ズボン、帯電防止用服、長靴)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(パテ状)
色 : 淡赤色
臭い : 僅かな特異臭(樹脂臭)
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
引火点 : 180℃(セタ密閉式)
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び／又は相対密度 : 1.9 g/cm³
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の実取扱い条件下では安定である。
化学的安定性 : 通常の実取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性 : 一度に多量の硬化剤(アミン類)と混合すると、発熱する。
避けるべき条件 : 高温・加熱、混触危険物質との接触
混触危険物質 : 強酸化剤、強酸、強アルカリ、意図しない過剰なアミン類
危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)：区分に該当しない

ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂：LD50 = 11,400 mg/kg(ラット)

(CERIハザードデータ集 2001-36 (2002))

ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂：LD50 > 2,000 mg/kg(ラット)

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

: LD50 = 1,940 mg/kg(ラット(オス))

急性毒性(経皮)：分類できない

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

: LD50 > 4.3 mL/kg(ラット)

混合物の94%は、急性(経皮)毒性が未知の成分からなる。

急性毒性(吸入：ガス)：分類できない

固体成分は考慮すべき毒性(吸入：ガス)成分に含めない。

急性毒性(吸入：蒸気)：分類できない

炭酸カルシウム：蒸気圧 = 0 mmHg, (approx, 20°C) (NIOSH)

混合物の31%は、急性(吸入：蒸気)毒性が未知の成分からなる。

急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)：分類できない

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

: LD50 ≥ 1.8 g/m3(ラット(オス))

混合物の25%は、急性(吸入：粉塵、ミスト)毒性が未知の成分からなる。

皮膚腐食性／刺激性：区分 2

ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂：区分 2

ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂：区分 2

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン：区分 2

炭酸カルシウム：区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分 2B

ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂：区分 2B

ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂：区分 2B

炭酸カルシウム：区分 2B

呼吸器感作性：分類できない

データなし

皮膚感作性：区分 1

ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂：区分 1

ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂：区分 1

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン：区分 1

生殖細胞変異原性：分類できない

データなし

発がん性：区分 2

酸化チタン(IV)：区分 2

生殖毒性：分類できない

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：分類できない

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2(呼吸器)

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン：区分 2

酸化チタン(IV)：区分 1(呼吸器)

誤えん有害性：分類できない

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂：区分 1

ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂：区分 1

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン：区分 1

この混合物の成分69%については水生環境有害性 短期(急性)が不明である。

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂：区分 1

ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂：区分 1

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン、エチル(1-フェニルエチル)ベンゼン：区分 1

この混合物の成分69%については水生環境有害性 長期(慢性)が不明である。

水生毒性

ビスフェノールA型エポキシ樹脂：甲殻類(オオミジンコ) EC50 = 1.7 mg/L/48hr
(CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

残留性・分解性

ビスフェノールA型エポキシ樹脂：

水溶解度 0.041 mg/L (CERI・NITE有害性評価書(暫定版), 2006)

BODによる分解度 0 % (既存化学物質安全性点検データ)

酸化チタン(IV)：

水溶解度 溶けない (ICSC, 2002)

生体蓄積性

ビスフェノールA型エポキシ樹脂：BCF ≤ 42 (既存化学物質安全性点検データ)

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従って、廃棄物処理を行う。(国都道府県並びに地方の法規に従う)

外部委託：産業廃棄物処理業者に内容を明確にして処理を委託する。

内部処理：廃棄物を焼却処理するときは焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施す。

1 4. 輸送上の注意

国連番号：3077(環境有害物質(固体))

国連分類：クラス9(その他の有害性物質)

容器等級：Ⅲ

運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められた輸送法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められた輸送法に従う。

航空輸送：航空法に定められた輸送法に従う。

国際規制：航空輸送は IATA、海上輸送は IMDGの規則に従う。

緊急時対応措置指針番号：171

容器：海上/航空輸送にて輸出する際にはUN容器に収納する。

容器表示：有害性、換気注意、ロットNo.、入目、使用上の注意事項

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

第一種指定化学物質：ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン
1,2-ジメチル-4-(1-フェニルエチル)ベンゼン
1,3-ジメチル-4-(1-フェニルエチル)ベンゼン
1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン

労働安全衛生法

表示対象物：酸化チタン(IV)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂
1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン
(2026年4月1日より表示対象物)

(法第57条, 令第18条)

通知対象物 (法第57条の2, 令18条の2)	: 酸化チタン(IV) ビスフェノールA型エポキシ樹脂 1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン (2026年4月1日より通知対象物)
皮膚等障害化学物質等 変異原化学物質 (H5労働基準局通達 基発312号)	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 メチレンビスフェノール型エポキシ樹脂中間体
消防法 化審法: 優先評価化学物質	: 非危険物 指定可燃物(合成樹脂類) : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン 1,2-ジメチル-4-(1-フェニルエチル)ベンゼン 1,3-ジメチル-4-(1-フェニルエチル)ベンゼン 1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン
労働基準法: 疾病化学物質, 皮膚障害 (施行規則別表1の2第4号1) 感作性を有するもの (H8労基局長通達 基発第182号)	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂 ビスフェノールF型エポキシ樹脂 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂 ビスフェノールF型エポキシ樹脂

16. その他の情報

参考

JIS Z7252:2019

JIS Z7253:2019

Nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

<https://www.nite.go.jp/index.html>

GHS混合物分類判定システム version 6.0, 経済産業省

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/ghs_auto_classification_tool_ver4.html

※この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性、危険性がありうるため取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全の使用条件を設定して下さるようお願い申し上げます

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

[化学品の名称]	セメダイン EP-1000ソフト石材用 硬化剤
[供給者の会社]	セメダイン株式会社
住所	306-0204 茨城県古河市下大野2184
担当部門	品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号	0280-92-4518
FAX番号	0280-92-1947
E-mail	emg@cemedine.co.jp
緊急連絡先	0280-92-4518 月曜～金曜 8時30分～16時50分（言語：日本語）
[整理番号]	0611-2
[推奨用途]	接着用途に限る
[使用上の制限]	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性：	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入：ガス) 急性毒性(吸入：蒸気) 急性毒性(吸入：粉塵、ミスト) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性	分類できない 区分 4 分類できない 分類できない 分類できない 区分 1 区分 1 区分 1 区分 1 分類できない 区分 2 分類できない 区分 2 区分 2(呼吸器) 分類できない
環境に対する有害性：	水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2 区分 2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

皮膚に接触すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
臓器の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き：

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
蒸気を吸入しないこと。
蒸気の吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
特別な処置が必要である(項目4. 応急措置を参照)。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収する。
保管 施錠して保管すること。
廃棄 内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：エポキシ樹脂系接着剤 硬化剤

危険有害成分

成分名	含有率(%)	CAS No.	官報公示整理番号(化審法・安衛法)
ポリアミドアミン	10～20	—	—
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	1～5	90-72-2	3-776
酸化チタン(IV)	0.1～1	13463-67-7	1-558
炭酸カルシウム	70～90	471-34-1等	1-122等

不純物

成分名	含有率(%)	CAS No.	官報公示整理番号(化審法・安衛法)
テトラエチレンベンタミン	1.0～2.0	112-57-2	2-162

4. 応急措置

吸入した場合：蒸気、ガスなどを吸入して、気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場合に移し、多量の水でうがいさせ、安静、保温に努め、速やかに専門医の手当を受ける。
皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴を脱がす。付着した部分洗い流しながら、水と石鹸で皮膚を洗浄する。痛みや異常が感じられる場合速やかに専門医の手当を受ける。
眼に入った場合：直ちに清浄な水で5分以上洗眼した後、速やかに専門医の手当を受ける。
飲み込んだ場合：口をすすぎ、無理に吐かせない。速やかに専門医の手当を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：泡、噴霧水、乾燥砂
使ってはならない消火剤：データなし
特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤、多量の水を使用して消火する。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
漏出防止、除外などの作業は、適切な保護具(手袋、保護眼鏡)を着用する。
環境に対する注意事項
漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の場合：ウエス等で拭き取る。
多量の場合：飛散したものを掃き集め、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：取扱い中は、飲食禁止、禁煙、ヒューム・ミストを吸込まないようにする。皮膚に触れさせない、眼に入らないようにする。適当な保護手袋、保護眼鏡等を着用する。作業衣は長袖、長ズボンを着用する。換気のよい場所で行い、時には局所排気装置を設置する。
保管：容器を完全に密閉して保管し、直射日光を避け、換気の良い屋内で一定の場所を定めて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等
許容濃度：未設定
管理濃度：未設定
設備対策：取扱い場所の近くにシャワー、手洗、洗顔、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。
保護具：簡易マスク(活性炭)
保護眼鏡(側面板付)
保護手袋(耐油性ゴム製、不浸透性)
保護衣(長袖、長ズボン、帯電防止用服、長靴)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体(パテ状)

色	: 淡青緑色
臭い	: 僅かにアミン臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 143℃(セタ密閉式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 2.0 g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の実験条件下では安定である。
化学的安定性	: 僅かにアミン黒変(表面)
危険有害反応可能性	: 一度に多量の主剤(エポキシ類)と混合すると、発熱する。
避けるべき条件	: 高温・加熱、混触危険物質との接触
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、意図しない過剰なエポキシ類
危険有害な分解生成物	: アミン類、燃焼等によるCOx、NOx

11. 有害性情報

急性毒性

- 急性毒性(経口): 分類できない
 - 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール LD50 = 2,169 mg/kg(ラット)
 - 混合物の15%は、急性(経口)毒性が未知の成分からなる。
- 急性毒性(経皮): 区分 4
 - 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール LD50 = 1,242 mg/kg(ウサギ)
 - 混合物の96%は、急性(経皮)毒性が未知の成分からなる。
- 急性毒性(吸入: ガス): 分類できない
 - 固体成分は考慮すべき毒性(吸入: ガス)成分に含まないとして分類する。
 - 混合物の18%は、急性(吸入: ガス)毒性が未知の成分からなる。
- 急性毒性(吸入: 蒸気): 分類できない
 - 炭酸カルシウム: 蒸気圧 = 0 mmHg, (approx, 20°C) (NIOSH)
 - 混合物の18%は、急性(吸入: 蒸気)毒性が未知の成分からなる。
- 急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト): 分類できない
 - 混合物の18%は、急性(吸入: 粉塵、ミスト)毒性が未知の成分からなる。

皮膚腐食性／刺激性: 区分 1

- ポリアミドアミン: 区分 1B
- 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール: 区分 1
- 炭酸カルシウム: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性: 区分 1

- ポリアミドアミン: 区分 1
- 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール: 区分 1
- 炭酸カルシウム: 区分 2B

呼吸器感作性: 区分 1

- 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1

- ポリアミドアミン: 区分 1A
- 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール: 区分 1

生殖細胞変異原性: 分類できない

データなし

発がん性: 区分 2

- 酸化チタン(IV): 区分 2

生殖毒性: 分類できない

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

- 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール: 区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(呼吸器)

- 2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール: 区分 1
- 酸化チタン(IV): 区分 1(呼吸器)

誤えん有害性: 分類できない

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

- ポリアミドアミン: 区分 1

この混合物の成分84%については水生環境有害性が不明である。

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

- ポリアミドアミン: 区分 1

この混合物の成分94%については水生環境有害性が不明である。

水生毒性
データなし
残留性・分解性
酸化チタン(IV):
水溶解度 溶けない (ICSC, 2002)
生体蓄積性
データなし
土壌中の移動性
データなし
オゾン層への有害性
データなし

13. 廃棄上の注意

該当法規に従って、廃棄物処理を行う。(国都道府県並びに地方の法規に従う)

外部委託 : 産業廃棄物処理業者に内容を明確にして処理を委託する。
内部処理 : 廃棄物を焼却処理するときは焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施す。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 1759(その他の腐食性物質(固体))
国連分類 : クラス8(腐食性物質、容器等級Ⅲ)
容器等級 : Ⅲ
運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国内規制
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められた輸送法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定められた輸送法に従う。
航空輸送 : 航空法に定められた輸送法に従う。
国際規制 : 航空輸送は IATA、海上輸送は IMDGの規則に従う。
緊急時対応措置指針番号 : 154
容器 : 海上/航空輸送にて輸出する際にはUN容器に収納する。
容器表示 : 有害性、換気注意、ロットNo.、入目、使用上の注意事項

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
第二種指定化学物質 : テトラエチレンペンタミン
労働安全衛生法:
表示対象物 : 酸化チタン(IV)
(法第57条, 令第18条) テトラエチレンペンタミン
(2025年4月1日より表示対象物)
2, 4, 6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール
(2025年4月1日より表示対象物)
通知対象物 : 酸化チタン(IV)
(法第57条の2, 令第18条の2) テトラエチレンペンタミン
(2025年4月1日より通知対象物)
2, 4, 6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール
(2025年4月1日より通知対象物)
皮膚等障害化学物質等 : テトラエチレンペンタミン
(則第594条の2) (2024年4月1日より皮膚等障害化学物質等)
2, 4, 6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール
(2024年4月1日より皮膚等障害化学物質等)
労働省労働基準局通達 「エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について」
硬化剤の主な成分 : ポリアミドアミン
2, 4, 6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール
テトラエチレンペンタミン
消防法 : 非危険物 指定可燃物(合成樹脂類)

16. その他の情報

参考
JIS Z7252:2019
JIS Z7253:2019
Nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
<https://www.nite.go.jp/index.html>
GHS混合物分類判定システム version 6.0, 経済産業省
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/ghs_auto_classification_tool_ver4.html

※この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
本文章の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性、危険性があるため取扱いは細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全の使用条件を設定してくださるようお願い申し上げます。